

宇宙開発の現状報告

(平成 18 年 10 月 13 日～平成 18 年 10 月 17 日)

平成 18 年 10 月 18 日  
宇宙開発委員会事務局

宇宙開発委員会の動き

10 月 12 日(木)

- 第 5 回安全部会 【井口委員長、松尾委員、青江委員】

10 月 13 日(金)

- 第 2 回 LNG 推進系飛行実証プロジェクト評価小委員会  
【井口委員長、松尾委員、青江委員、森尾委員】

10 月 17 日(火)

- 第 8 回推進部会  
【井口委員長、松尾委員、青江委員、野本委員、森尾委員】

宇宙開発に関する国内の動向

10 月 12 日(木)

- JAXA 技術のライセンス先企業である株式会社日進産業、東京商工会議所主催の「勇気ある経営大賞」の「優秀賞」を受賞 【独立行政法人宇宙航空研究開発機構】  
「ロケットにおける断熱材技術」を応用して建築用の塗布

式断熱塗料を開発、販売している株式会社日進産業が、東京商工会議所が主催する「勇気ある経営大賞」の「優秀賞」を受賞した。

「勇気ある経営大賞」は、独自の技術・技能や経営手法によって新たな製品・サービスを生み出すなど、勇気ある挑戦をしている革新的・創造的な中小企業またはそのグループを東京商工会議所が選定し表彰するもの。

株式会社日進産業は平成 17 年に JAXA から、「H- ロケットの先端部の衛星保護カバー(フェアリング)用に開発された断熱材技術」の実施許諾を受け、民生分野での製品化に成功。幅広い温度帯に対応できる高性能塗布式断熱材を開発し販売を開始していた。

10 月 13 日(金)

- 筑波宇宙センターで月周回衛星 SELENE の機体を公開  
【独立行政法人宇宙航空研究開発機構】

10 月 16 日(月)

- 大型展開アンテナ小型・部分モデル 2(LDREX-2)のアンテナ展開を画像データにて確認  
【独立行政法人宇宙航空研究開発機構】

10 月 14 日(土)5 時 56 分(日本時間) アリアンスペース社はギアナ宇宙センターよりアリアン 5 ロケットの打上げに成功し、JAXA の技術試験衛星 型(ETS-)の実験用アンテナ小型・部分モデル 2(LDREX-2)を所定の軌道に投入することに成功した。その後、ケニア共和国マリンジ局にて

受信した画像では、アンテナが展開された様子が確認できたが、実験の成否については、テレメトリデータの解析が必要のため、7~10日ほどかかる予定。

10月16日(月)

- スクラムジェット燃焼器飛行実験失敗の原因究明結果判明【独立行政法人宇宙航空研究開発機構】

スクラムジェット燃焼器飛行実験委託先であるオーストラリアのクイーンズランド大学より、実験失敗に至った燃焼器模型部を覆うロケット先端部のノーズコーンが分離できなかった原因の究明結果が報告された。

同大学の原因究明結果によると、ノーズコーンを分離するための窒素ガスを供給するためのバルブが、ロケットに搭載したバッテリーの充電不足により、駆動しなかったとのこと。

スクラムジェット燃焼器飛行実験の今後の進め方については引き続き検討していく。

宇宙開発に関する海外の動向

10月10日(火)

- FSAとISRO今後の宇宙協力について協議【露・印】

10月4日(水) ロシア連邦宇宙局(FSA)とインド宇宙研究機関(ISRO)は、スペインのバレンシアで開催された第57回国際宇宙会議(IAC2006)に合わせ、両国の協力プログラムについて協議した。

- 米国新国家宇宙政策を発表【米】

10月6日(金)米国ホワイトハウス科学技術政策局(OSTP)は、8月31日付でブッシュ大統領が承認した、米国家宇宙政策(U. S. National Space Policy)を発表した。本政策は、クリントン大統領が発表した国家宇宙政策に置き換わるもので、大統領令に相当する。

10月13日(木)

- 中国宇宙白書を発表【中】

10月12日(木)中国国務院は、宇宙白書「2006年中国的航天」を発表した。

白書は、前書と5つの章(開発目的・原則、過去5年の進展、今後5年間の開発目標・主要課題、開発政策と方法、国際交流と協力)から構成されている。

【議事】

スクラムジェットに関し、以下のやり取りがあった。

井口：スクラムジェットは航空機ですか。審議の対象ではないと思うのですが...

池原：スクラムジェットは宇宙での利用を目指し、地上から低周回軌道までの推進機関として開発されているもので、いまだプロジェクトに至っていないものである。